

将来を見据えた交通
に関わる課題

運輸政策審議会答申
未着手路線の検討

社会状況の変化への対応

- (1) 都市構造の変化を踏まえた交通ネットワークの整備
- (2) コンパクトな市街地の形成
- (3) 低炭素型都市づくりへの対応 ※環境問題への対応
- (4) 国際競争力の強化(横浜、新横浜都心の機能強化)
- (5) 観光・交流への寄与
- (6) 都市構造・機能の再編整備への対応
- (7) 大規模災害等への対応

交通体系の方向性(課題認識)

I 新たな鉄道ネットワークの構築

- (1) 新たな都市軸への対応
- (2) 拠点間を結ぶネットワークの確立

II 既設鉄道路線の改良・活用

- (1) 横浜都心、新横浜都心(新幹線駅)へのアクセス機能強化
- (2) 空港へのアクセス機能強化
- (3) 中央新幹線駅へのアクセス機能強化
- (4) 質の高いサービスの提供
- (5) 混雑緩和 (6) 速達性の向上 (7) 定時性の確保(列車遅延の緩和)

III 既設駅の改良・活用と新駅整備

- (1) バリアフリー化・シームレス化の推進
- (2) さらなる安全性の向上
- (3) 駅機能の高度化

IV 結節点(駅)における異なる交通手段との連携

- (1) バス交通との適切な分担
- (2) 交通結節機能の充実
- (3) 案内表示などソフト面の改善

V 鉄道整備とまちづくりとの連携

VI 新規路線の整備方策の検討

- (1) 事業性を高めるための方策の検討
- (2) 整備制度など事業手法の検討

<交通体系の方向性の構成イメージ>

